
終焉の果てに

そらのはて

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終焉の果てに

【Z-コード】

N6775B

【作者名】

そらのはて

【あらすじ】

OverSoulWorldのその後を書きました。

復讐は突然の日に起こつた。

突如、欲望の衝動がきた。
肉を食いたい。

復讐者の怨念だ。

分かつてゐる。

ダメだ。やつてはいけない。

本能が理性を喰い尽くされそになりながらも抗つ。

食いたい。あの塩辛い肉を食いたい。

人の肉を喰いたい。

「つづつー。」

声にならない囁きを出す。

くわっ！

インスタントのラーメンを作りながら沸騰している片手鍋を吹き飛ばした。

熱いお湯が右腕全体に飛び散る。熱いはずなのに熱いと思わなかつた。

ただ赤くなるだけだった。

やばい、痛みを感じない。体中が凍りつく。

見えない恐怖に襲われ

まるで自分の体じやないような、錯覚におちいった。

くそ、こんな事なら誰かに殺してもうればよかつた。

「相川夏唯・・・まさか、死ぬ間際におまえ顔が浮かんでくるなんて」時間が過ぎ度に理性がなくなるのが実感してきた。

もう、おれは長くない。

「すまない、オームさん。約束ははてせないよつだ。世界を変えたかつたな」

意識が虚になつてきた。

狂喜が体の中で弾くよつて広がつていぐ。

「黒石、今の世界はおかしい。上の人間がいよいよ世界が変わつ

てこつてこる

「世界をめぐるはりねの世界にてしてあるが、

ホームの幻覚が走馬灯のように流れた。

「ホームをと、オレはもうつまこです」

「世界を変える夢をほんせなによつ・・で・す」

途端に意識が深い海に突き放された。

「「うねねー」と、その一言で一瞬の時の狭い世界を自分の物に出来る一喝。
そして、この一喝はどれだけの効力があるだらうか。

もちろん大声で叫び回るのは迷惑だが
話してはいけないという決まりはない。

世の中、規範をつくるのは
「怖い人」

「声が大きい人」

その一喝にどれだけ納得するかだ。

その一喝に反発する者はそういうない。

自分は巻き込まれたくないといつ理由だ。

だから考え方を変えるだけで世界は自分の者に出来る。

世界は実に簡単だ。

難しく考えすぎなんだよ。

ありえないぐらいの世界の構造にはみんな気付かない。

表があつて裏がある。光があつて闇になるのだから。

何の不思議な事ではない。

世界が成り立つのに自然な事なのだから・・・。

ただ、今世界では4つの勢力で成り立つてていると言われているが

もう、すでに成り立つてはいなかつた。

今、世界は急速なスピードで混沌に進んで行つてゐる。

混沌の世界

ChaosOverSoulWorld

世界はもう終演を迎えていた。

誰もが氣づかぬいうちに・・・。

ただ

知る者は一人いた。

相川夏唯

その一人。

世界の終演をその目で見ようとしていた。

「黒岩のおっさん、あんたは何をしたかつたんだ？」

今、世界は混沌の渦に包まれている。

海の水は汚染され

魚介類は死に

森は枯れ

植物が育たない。

しまいに

電気も通らなくなり

今日本では無法地帯になつていて。

犯罪勃発の中、人殺し、自殺、強盗、拷姦
まるで、人々の欲望が弾き飛んだかのようだ。

月が朱あかい夜、

暗闇は黒くはなく

朱く光り輝いていた。

あの時、あの出来事以来・・・月は朱く光り、夜があかくなるよう
になつた

朱く光る真夜中は不気味さえ覚えてしまつ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6775b/>

終焉の果てに

2010年10月28日00時38分発行